



# 第33回 関西ライフサイエンス リーディングサイエンティストセミナー



本セミナーは、ライフサイエンス分野で最先端の研究を展開されている関西の先生方にご講演をいただき、製薬、医療機器、診断薬、健康食品、医療関係者などのライフサイエンス関係者および一般の方々に、健康・医療産業に対するインスピレーションと産業化へのイメージーションを感じていただくことを目的としています。

このことは、産官学にわたる組織横断的なコミュニティの醸成と、産官学の対話促進につながるものと期待しています。

本セミナーは、3か月に一度の頻度で開催し、毎回2名の講師の先生から、最先端の研究についてホットな話題をお聞きいただけます。皆様のご参加をお待ちしております。

記

日時：2022年**9月7日（水）** 14:00—16:00

開催方法：ハイブリッド開催

◆会場参加（申込先着順 50名様）

：グランフロント大阪北館 タワーC 8F

ナレッジキャピタルカンファレンスルームタワーC-05

<http://www.kc-space.jp/conference/items/towerC.pdf>

◆オンライン（zoom ウェビナーを使用します）

参加費：無料

主催：NPO 法人近畿バイオインダストリー振興会議、公益財団法人都市活力研究所

共催：NPO 法人バイオグリッドセンター関西

後援：関西医薬品協会、バイオコミュニティ関西 (BioCK)

講演 I 14:00-15:00

「QbDに基づく細胞製剤製造の現状と展望」

公益財団法人 神戸医療産業都市推進機構

細胞療法研究開発センター センター長 川真田 伸 氏

細胞製剤の製造は、原材料（細胞）の品質が不均一であることや、煩雑な製造工程を要することなどから、製造業としての自立化・産業化が難しい。当センターでは、Global Pharmとの協業に基づくCAR T製剤の製造経験から、製造情報のdigital化/見える化を担うQuality by Design (QbD)の考え方の導入が、現在の製造業の自立化に寄与すると考えている。本講演ではその概要を述べる。

講演Ⅱ 15:00-16:00

「ヒト多能性幹細胞由来オルガノイド作製と眼の再生医療への利用」

大阪大学大学院 医学系研究科 寄附講座 教授 林 竜平 氏

我々はヒト多能性幹細胞を用いて、角膜や網膜などの眼の細胞系譜が規則正しく配行した2次元の眼様オルガノイドの誘導に成功した（Nature 2016, Nature Protoc. 2017 など）。このオルガノイドを用いて、角膜上皮組織を作製し、2019年には世界初となるヒトiPS細胞由来角膜上皮細胞シート移植に成功した。さらに本オルガノイドをヒト眼発生細胞モデルとして用い、結膜組織や3次元涙腺オルガノイドの誘導にも成功し、その発生機序を明らかにした（Cell Rep. 2021, Nature 2022 など）。本講演ではiPS細胞とオルガノイド技術を用いた最近の取り組みについて話したい。

申込先：参加希望者は2022年9月6日（火）までに、NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議のホームページからお申込みください。

URL：<https://kinkibio.com/>

※お申込みの際に、会場・オンラインどちらか選択してください。

※会場での視聴は申込先着50名様といたします。

それ以降の方は、オンライン視聴となりますがご了承ください。



こちらからもお申込みいただけます

問合先：NPO法人近畿バイオインダストリー振興会議 事務局 電話：06-4963-2107（菅原、大嶋）  
公益財団法人都市活力研究所 電話：06-6359-1322（味村）